

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 16 号	氏名	余 福勲
学位審査委員	主 査	中村 三千男	
	副 査	青木 克己	
	副 査	門司 和彦	
論文審査の結果の要旨 1 研究目的の評価 本研究は、SARS コロナウイルスの感染の有無を高い特異性を持って検出できる ELISA を確立して SARS の不顕性感染があるかどうかを明らかにしようとしたものであり、その目的は十分に妥当である。 2 研究手法に関する評価 SARS-コロナウイルス (CoV) の N 蛋白質から、他のコロナウイルスと共通なアミノ末端部(1-121)を欠損させた再構成 N 121 蛋白質をデザインし、その再構成蛋白質を抗原として、間接サンドイッチ IgG ELISA を開発した。その着眼点も良く、研究手法として極めて妥当である。 3 解析・考察の評価 方法の特異性を確認したのち、解析対象として、ハノイの一病院における医療従事者を感染者およびその可能性のある者とし、SARS 流行前の健常者を陰性対照者とし、これらの血清を材料として解析した。臨床的解析試料として極めて妥当である。これらの解析から、上記方法は従来の方法より特異性が高だけでなく、感度と早期陽性率においても優れていることが明らかとなった。本新奇手法を用いて臨床症状を示さないで抗 SARS-CoV IgG 陽性となっている不顕性感染例が陽性例の約 10%あることを明確に示した。また、本測定法は験者の感染可能性が無く、どこでも安価に測定できることから、発展途上国の SARS 汚染地域でも簡単に利用できる点は特筆に値する。 以上のように本論文は SARS 研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			